



特別寄稿

宇部市小中学校におけるSDGsの取組

宇部市教育委員会
学校教育課 課長 三原 洋一

来年度から小学校で実施される次期学習指導要領では、総則などで「持続可能な社会の創り手」の育成が掲げられています。

宇部市では、本年度、「学校教育の推進のための指針」の中に、「宇部市SDGs未来都市計画」を位置づけました。「質の高い教育をみんなに」「人や国の不平等をなくそう」「平和と公正を全ての人に」など、持続可能な開発のための諸目標の達成に向けて、行政・学校・関係機関が連携して取り組んでいくとしています。

市内の各小中学校においては、宇部SDGs推進センター等と連携して、世界どうぶつ環境会議やSDGsの授業公開などが行われています。その中で、次年度に向けて、SDGsの視点で教育課程を見直し、本年度中に、SDGsカリキュラムの作成を行っています。小中学校共に全ての教科において、SDGsの目標に照らして単元を整理するだけでなく、学校独自の取組に関わる行事や総合的な学習の時間、特別活動等をカリキュラムに位置付け、独自のカリキュラムを作成していきます。全ての教職員がSDGsを意識した取り組みを行うことは、よりよい社会の実現に向けて重要なことです。今後の各校の特色ある取組を期待しているところです。



宇部市内の小中学校で開催された世界動物環境会議の様子

また、本年度、内閣官房まちひとしごと創生本部事務局等の開催する中高生を対象とした「SDGsまちづくりアイデアコンテスト」に全国から応募された 186 作品の中から、ファイナリスト 25 作品に、市内の2つの中学校の生徒の作品が選ばれました。子どもたちが、SDGsを身近な問題として捉え、社会の様々な課題に目を向けられるようになってきていることは、素晴らしいことです。

今後も、SDGsの「誰一人取り残さない」という考え方をもとに、子どもたちに、超スマート社会 Society5.0 をたくましく生き抜く力を育むために、宇部市の教育をさらに充実させてまいります。

◆◆ 学習館開催企画のご案内 ◆◆

●第6回 環境サロン (特別企画)

日時：令和 2年 2月15日(土)15:00~17:00

場所：まちなか環境学習館 3階

課題及び話題提供者：

「山口宇部空港やきらら博記念公園等を活かした
オンリーワンの地域づくりを目指す」

秋本貞光さん(山陽自動車道活性化協議会会長)

全国表彰受賞 2 回、自治会長を努められること四半世紀の秋本さんが、これまでを振り返るとともに、未来に向けて、地球規模への視点を持ち、宇部・山口の魅力の世界に発信するという壮大な夢をお聞きます。

資料代 200 円 / 高校生以下無料



まちなかおそうじ隊募集!

まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケード、塩田川、中川等を掃除しています。申込みや道具は不要です。おそうじの後は、お茶会でホッとひと息♪

お気軽にご参加ください!

[まちなか環境学習館 電話 0836-39-8110]

2月23日(日)
15:00~
学習館前に集合
(道具は不要)



令和元年 12 月 20 日、まちなか環境学習館の来館者が、平成 23 年 8 月開館以来 7 万人を達成しました。学習館では、7 万人目の方と前後の来館者あわせて 3 名の方に記念品を贈呈しました。

まちなか環境学習館来館者 7万人達成しました!

7 万人目は原野紗菜さん(慶進高校3年)。よく一緒に来館されるお友達で来館 70,001 人目の小林侑菜さん(同校3年)と共にパチリ!

これからも職員一同 皆様のご来館をお待ちしています。



当館指定管理者
NPO 法人うべ環境コミュニティ
理事長 浮田正夫(贈呈)

宇部市環境学習ポータルサイト

「うべっくる」

うべっくる

検索



<http://www.ubekuru.com kuru.com>

環境活動団体紹介コーナー

持続可能な社会に向けた当社の取組 ～株式会社宇部セントラルコンサルタント～

近年、身近な生物であったゲンゴロウが、農薬使用などによる水質汚染をはじめ、ため池や水路の改修などの環境改変、ブラックバスなどの外来種の影響により数が減少してきています。

当社は、ゲンゴロウも住めるような水辺環境が創出できるように、農業水利施設やため池の計画・維持管理において、環境に配慮した提案を行っております。

2019年は、ため池改修計画において、堤体植生や水生動植物、ため池を利用する昆虫類、水鳥等の調査を行い、ミティゲーション5原則の考え方にに基づき環境配慮対策を行いました。

例えば、堤体の在来植生については、施工時に堤体の表土を一部仮置きし（表層20cmの表土を採取）、表土戻りしや表土整地の際に、表土を土羽土として利用しました。

また、仮置きする表土はブルーシート等を被せ、湿潤度を維持し、土砂の流出、濁水の発生を抑えるようにしました。さらに、表土はプランターに移すなど、埋土種子から在来植物の発芽を促し、表土整地の際に用いる計画としました。

次に、ため池を利用する昆虫類、水鳥の保全については、現地の自然石（石積み護岸）を場外処分せず、自然石でため池内に、中の島を構築することで、水鳥の避難場所や魚類の産卵場・隠れ場を確保しました。

今後も持続可能な社会に向けた取組に向けて、様々なアイデアを追求し、社会に貢献していきたいと考えております。

＜堤体植生配慮計画図＞



オオバン生息状況

表土利用(土羽土)

埋土種子による発芽

株式会社宇部セントラルコンサルタント
代表取締役 植田敏史

うべ環境コミュニティー会員



コラム

宇部を元気に。



平成28年(2016)定年も過ぎ、何か新しいことに挑戦してみたくなったところに、宇部市文化創造財団による人材育成事業のひとつとしてアートマネージャー養成講座番外編として「戯曲を読む会 in 宇部」が開催されました。この講座は終了時に公開リーディングとして観客の前で朗読劇を発表することがプログラムにあり、約半年間に10回程度の練習日があるものでした。

台本を見ながらとは言え、人前で演技する経験などないに等しかったので尻込みしてしまいましたが、こんな機会はないかも知れないと思い、思い切って参加してみることにしました。結果として今思うことはあの時の決断は正しかったということです。発表終了後の達成感は何物にも勝る素晴らしいものでした。みんなでひとつのものをつくりあげる、まさに「ワンチーム」そのものでした。

講座終了後は有志により、戯曲を読む会 in 宇部(会長:佐野泰雄、宇部志立市民大学環境学部第一期生)として活動を続けていくことになりました。平成30年(2018)からは宇部市立図書館で毎年秋に開催される図書館祭りの演目のひとつとして上演させていただけるようになりました。

一昨年は宮沢賢治原作の「セロ弾きのゴーシュ」、昨年はオスカーワイルド原作の「幸福の王子」を上演しました。

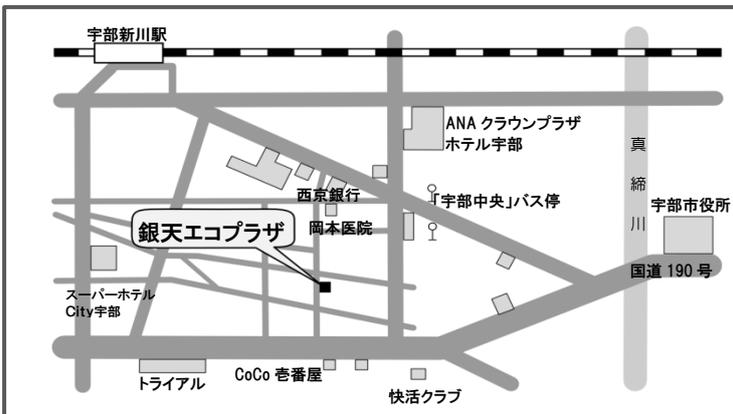
最近では新しいメンバーも増え、横のつながりも徐々にできてきて、他の劇団のかたの客演も行われるようになり、ますます面白い展開となっています。現在は月2回程度の練習日があり、シニア世代の会員が多いですが、これからは若い人にもどんどん加わっていただけるような会になればうれしいです。

宇部をもっと元気に！していきましょう。

最後に最新情報として来る2月2日(日)13時30分から宇部市民館2階ロビーにて渡辺翁記念会館活性化事業の一つとして戯曲を読む会 in 宇部の朗読劇「セロ弾きのゴーシュ」(入場無料)が開催されます。当公演を控えてたがいま会員全員が全力で取り組んでいます。

是非ご来場ください。

宇部志立市民大学 環境・アート学部 OB会 山本 和毅



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～21時 HPアドレス; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)